

読まねかね 2007 4月号

平成18年度読書普及講座 大盛況！！

隠岐の神社建築を学ぶ

読書普及講座・隠岐学入門講座の第2弾も3月3日に開催した都万・高田神社についての第1弾に引き続き大盛況でした。

3月10日の第2弾は、昨年12月に隠岐の島町有形文化財に指定された今津・白鳥神社についての講座でした。

講師に教育委員会文化振興係長の横田登氏をお迎えして、「隠岐造りの起源を考えるうえで重要な建物 今津・白鳥神社」と題してお話いただきました。

今津神社だけでなく隠岐造り全般についてお話いただき、40名近い参加者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。



展示コーナー

『こんなチラシがあったのか?! 明治・大正時代宣伝広告展』

5月31日(木)まで展示コーナーにおきまして、上記の展示を開催しています。

町内にお住まいのお二方が保存されたい明治・大正時代の商店のチラシや、薬の看板を提供して下さって実現した展示です。

宣伝チラシは制作された時代を映し出すものです。当時の隠岐の様子がわかる写真とともに展示しておりますので、この機会にぜひご覧ください。



図書館の展示コーナーでは、隠岐に関する様々な展示を行っています。町民の方からの提供で実現する展示も多くあります。お宅に眠っているものがありましたら、図書館で展示してみませんか？ 図書館では、本だけでなく郷土に関するものを積極的に収集し、郷土資料として永久保存していきます。



平成18年度親と子の読書普及事業 開催

『子どもと本との出会い』

3月9日(金)に平成18年度親と子の読書普及事業の一環として読み聞かせボランティア講座をおこないました。

講師に島根女子短期大学教授の堀川照代先生をお迎えして、「聞く力と読む力の育ちの一助となるために」と題してお話いただきました。

子どもが本と出会うことがいかに必要か、図書館とボランティアの連携の重要性などを学びました。

これを機に、さらにボランティアの方との連携、学校図書館との連携を深めていきたいと思っております。



特集コーナー

『新生活 心機一転 ～住空間を快適に～』

新年度になりました。新しい生活を始めた方、島外から転入された方、気分一新で新年度に臨まれた方などたくさんいらっしゃると思います。

今月はそんな方たちのために、生活の基盤である住空間についての本を特集しています。インテリアの本から、お家のお手入れ法、生活の知恵の本などを紹介しています。

こんげつのえほん

『ほいくえん・がっこう』

4がつはにゆうえん・にゆうがくのきせつです。

ほいくえんやがっこうにかんするえほんをしょうかいしています。



図書館職員オススメの一冊

今月は館長のオススメ本です

『明治日本の面影・伯耆から隠岐へ』

小泉八雲著

講談社

「伯耆から隠岐へ」は小泉八雲が明治25年に隠岐に渡ったおりの紀行文です。「西郷は誠に驚くべき町であった。大きな漁村くらいしか思っていなかったが、境よりはるかに大きく、整っていて、あらゆる点でずっと近代化されていた。長い通りいっぱいになりつぱな店が並び、見事な公共の建物が建ち、見るからに商業が栄えている都市であった」や「食事はびっくりするほどおいしく、品数も多かった。お好みなら、フライドポテトのついたビーフステーキやローストチキンなどの西洋料理を注文してもよい」などと書いてあります。しかし、八雲はがっかりしたように日本中で最も原始的なところを期待したようです。ぜひ一度読んでみてください。明時代の町の様子がわかります。

また、図書館の展示コーナーでは明治・大正時代のチラシや看板、写真を展示しています。

5月の休館日のお知らせ

1日(火)・3日(木)・4日(金)・7日(月)

14日(月)・20日(日)・21日(月)・28日(月)

5月5日(土)は特別開館いたし

ます。子供の日のイベントを計画

中ですので、お楽しみに！！